

目次

はじめに	2
利用規約	2
このマニュアルの表記	2
商標および著作権について	3
1 概要	4
機能	4
特長	5
2 使用上の注意	6
3 設定の流れ	8
4 端末管理者 ID の登録	9
仮登録	9
本登録	9
5 コンピューターの PCID とパスワードの取得	10
PCID とパスワードをコンピューター 1 台ずつ表示させる	10
PCID とパスワードを CSV ファイルに出力する	10
6 管理サーバーの設定とコンピューターの登録	12
7 BIOS の設定	13
BIOS セットアップの起動	13
CLEARSURE の BIOS 設定	14
BIOS セットアップの終了	16
アクティベートの実行	17
8 認証機能を使う	18
パスワード入力画面	18
パスワードの入力	18
指紋認証を使う	20
9 CLEARSURE の表示するメッセージ	21

はじめに

このたびは弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルは、CLEARSURE の概要と注意事項、設定方法、使用方法について説明しています。
お使いになる前に、このマニュアルおよびコンピューター本体のマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

2013年6月




利用規約

お使いになる前に、富士通製品情報ページ内にある「利用規約」(http://www.fmworld.net/biz/terms_of_service/clearsure_tos.html) を必ずお読みください。

このマニュアルの表記

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先のページを示しています。クリックすると該当ページへ移動します。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】 + 【F3】キー、【Shift】 + 【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「→」でつないで表記しています。

例：コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリックし、「システム」をクリックし、「デバイスマネージャー」をクリックする操作

↓

「システムとセキュリティ」→「システム」の「デバイスマネージャー」の順にクリックします。

■ 画面について

記載されている画面は一例です。実際に表示される画面とは異なることがあります。

■ 製品の呼び方

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記	
LIFEBOOK (CLEARSURE を含む)	コンピューター	
Windows 8	Windows 8	Windows
Windows 8 Pro		
Windows 8 Enterprise		
Windows 7 Ultimate	Windows 7	
Windows 7 Enterprise		
Windows 7 Professional		
Windows 7 Home Premium		
Windows 7 Starter		

■ お問い合わせ先 / URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や URL は 2013 年 6 月現在のものです。変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。詳しくは『取扱説明書』をご覧ください。

商標および著作権について

各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
 各製品は、各社の著作物です。
 その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

1 概要

CLEARSURE とは、コンピューターの盗難、紛失時にコンピューターのロックやハードディスクのデータ消去を行うことにより、情報漏えいのリスクを軽減するソリューションです。

機能

■ リモートロック・消去

管理者からの遠隔指示により、「リモート PC ロック」や「リモートデータ消去」を行って、第三者による操作やデータの漏えいを防ぐことができます。

□ リモート PC ロック

遠隔指示により、コンピューターの起動をロックします。管理者からのロック解除指示がない限りコンピューターを起動できません。

□ リモートデータ消去

遠隔指示により、暗号化機能付きハードディスクの暗号解読に必要となる暗号鍵を消去して、ハードディスク内の全データを解析・復元不可能な状態にすると共に、コンピューターの起動をロックします。

■ ローカルロック・消去

BIOS セットアップで設定した「パスワード入力回数上限」の回数、BIOS のパスワードを間違えると、「ローカル PC ロック」や「ローカルデータ消去」を行います。コンピューターが通信圏外や電波の弱い場所などにあり遠隔操作ができない状態の場合でも、第三者による操作を防ぐことができます。

□ ローカル PC ロック

BIOS セットアップで設定した「パスワード入力回数上限」の回数、BIOS のパスワードを間違えると、コンピューターの起動をロックします。

□ ローカルデータ消去

BIOS セットアップで設定した「パスワード入力回数上限」の回数、BIOS のパスワードを間違えると、暗号化機能付きハードディスクの暗号解読に必要となる暗号鍵を消去して、ハードディスク内の全データを解析・復元不可能な状態にすると共に、コンピューターの起動をロックします。

■ 結果通知

「リモートロック・消去」や「ローカルロック・消去」を実行すると、管理サーバーで結果通知を確認できます。

実行内容、紛失コンピューターの位置情報、最終ログイン日時などを把握できます。

なお、圏外で「ローカルロック・消去」が実行された場合は、管理サーバーで結果通知を確認することはできません。ただし、24 時間以内に通信圏内にコンピューターが移動すれば、自動的に管理サーバーに通知されます。

特長

■ PHS ネットワークを使用した遠隔操作での実行指示が可能

株式会社ウィルコム（以降、「ウィルコム」と略します）の PHS 通信回線を使った遠隔操作で「リモートロック・消去」の指示ができます。このため、紛失または盗難にあったコンピューターがどこにあっても、高い確率で「リモートロック・消去」を実行することができます。

■ 電源オフの状態でも実行可能

コンピューターの電源状態にかかわらず、常時待ち受け状態を維持する専用の通信モジュールを搭載しているため、コンピューターが電源オフの状態でも「リモートロック・消去」が実行できます。低消費電力の PHS 通信モジュールを使っているため、バッテリーの消費を抑え、長時間の待ち受け状態を維持することができます。

2 使用上の注意

CLEARSURE をお使いになるうえで、次の点にご注意ください。

- ・コンピューターが次の状態のときは、遠隔操作による指示を実行できません。
 - ワイヤレススイッチがオフになっている
 - ウィルコム通信エリア外、またはエリア内の電波の届かない場所にある

重要

- ▶ ウィルコムのサービスエリア内でも、周囲の環境により圏外となることがあります。
 - ・コンピューターを移動したときや、電波を遮るものがあつたときに、一時的に圏外となることがあります。
 - ・同じ場所で使用していても、周囲の環境で圏内または圏外になることがあります。また、電波が弱い場所では、頻繁に状態が変わることがあります。

POINT

- ▶ 使用する場所の電波強度を診断プログラムで確認することができます。診断プログラムについては、コンピューター本体の『製品ガイド』の「トラブルシューティング」→「トラブル発生時の基本操作」→「診断プログラムを使用する」をご覧ください。『製品ガイド』は富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/>) で公開されています。お使いの機種のマニュアルをご覧ください。
- ▶ CLEARSURE が有効の場合、BIOS のログオン認証画面で、圏内か圏外かを確認することができます。ただし「起動時のパスワード」を「使用しない」に設定している場合は、圏内か圏外かを確認することはできません。
- ▶ Windows 8 の場合、機内モードのオン/オフにかかわらずワイヤレススイッチがオンになっているときに使用できます。

- バッテリーが切れている
- バッテリーが取り外されている
- ・ハードディスクのデータを消去した場合、データの復旧はできません。ハードディスクのリカバリ領域も削除されますので、ハードディスクのデータを消去する前に必ず「リカバリデータディスク」などを作成してください。詳しくは『リカバリガイド』をご覧ください。
- ・セキュリティボタンをお使いの場合、次の点にご注意ください。
 - 「ローカルロック・消去」の機能は、正しくセキュリティボタンの操作をしないと実行されません。
 - 「リモートロック・消去」の遠隔指示を受けると、セキュリティボタンの設定や操作にかかわらず「リモート PC ロック」または「リモートデータ消去」が実行されます。
- ・「リモートデータ消去」や「ローカルデータ消去」が実行されると、セキュリティチップもクリアされます。
- ・「リモートロック・消去」や「ローカルロック・消去」が実行されると、イベントが BIOS のイベントログに記録されます。各機能が実行された日時は、管理サーバーの「PC 履歴表示」で確認できます。
- ・コンピューターがロックされている状態では、電源を入れるたびに、「ローカルロック・消去機能が実行された」というイベントが BIOS のイベントログに記録されます。

CLEARSURE をお使いになる方へ

- ・ サービス期間中に CLEARSURE の使用を終了する場合や、サービス期間が終了した場合、必ず BIOS セットアップで「リモートロック・消去機能」を「オフ」に設定してください。「オン」に設定されていると誤ってコンピューターがロックされてロック解除ができなくなったり、ハードディスクのデータが消去されたりする場合があります。また通信圏外での起動を許可しない設定にしていると、サービス期間終了後にコンピューターが起動できなくなります。
- ・ BIOS セットアップで「リモートロック・消去機能」を「オン」に設定した状態で、PHS 通信モジュールを取り外したり別の PHS 通信モジュールと交換したりすると、コンピューターは起動できなくなります。

3 設定の流れ

ここでは、CLEARSURE をお使いになるための作業について説明しています。「(管理者のみ)」で示している作業は、管理者のみが行えます。それ以外の作業も、管理者の指示に従い、必ずこの順番どおりに行ってください。

- 1 端末管理者 ID の登録 (管理者のみ)
- 2 コンピューターの PCID とパスワードの取得
- 3 管理サーバーの設定とコンピューターの登録 (管理者のみ)
- 4 BIOS の設定

4 端末管理者 ID の登録

CLEARSUREの「リモートロック・消去」の実行指示は、すべて管理サーバーを経由して行います。お使いになるには、あらかじめ端末管理者IDを登録する必要があります。

1つの端末管理者IDで複数のコンピューターを管理できます。コンピューター1台ごとに端末管理者IDを登録する必要はありません。

重要

- ▶ 他の端末管理者 ID で登録したコンピューターに対して、CLEARSURE のサービス実行、データ管理を行うことはできません。例えば、部署ごとに端末管理者 ID を取得した場合、他部署のコンピューターの参照や遠隔操作を行うことができません。

仮登録

「富士通 CLEARSURE」のページ (<https://eservice.fujitsu.com/clearsureweb/>) の「端末管理者 ID 申請（仮登録）」をクリックし、表示されるページの指示に従って E メールアドレスを登録します。すると、登録した E メールアドレスに、本登録用の URL と初期パスワードを通知する E メールが届きます。

本登録用の URL と初期パスワードを通知する E メールが届かない場合、再度仮登録を行う必要があります。Eメールの受信拒否などが設定されていないかよく確認してから仮登録を行ってください。

本登録

仮登録完了後に送信される E メールに記載された本登録用の URL にアクセスし、表示されるページの指示に従って本登録を行います。

Eメールに記載されている本登録受付期間を過ぎると仮登録の内容は失効となり、再度仮登録から行う必要があります。

重要

- ▶ 端末管理者IDを使うと、管理サーバーのすべての操作を行えますので、端末管理者IDのパスワードの設定および管理には充分ご注意ください。
- ▶ すでに端末管理者として登録してある E メールアドレスを使用して、新規に「本登録」を行うことはできません。

5 コンピューターの PCID とパスワードの取得

管理サーバーにコンピューターを登録するためには、各コンピューター固有の情報である PCID とパスワードが必要です。「ドライバーズディスク」にある「PCID /パスワード表示ツール」を使って PCID とパスワードを取得してください。PCID とパスワードを取得するには、コンピューター 1 台ずつ表示させる方法と、CSV ファイルに出力する方法があります。

PCID とパスワードをコンピューター 1 台ずつ表示させる

■ Windows 8 の場合

- 1 管理サーバーに登録するコンピューターに、「ドライバーズディスク」をセットします。
- 2 スタート画面の何も無いところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
- 3 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
E:¥Win8¥Security¥FJMIPWU¥FJMIPWU. exe
 - ・「E:¥」は、光学ドライブを指定しています。光学ドライブ名はお使いの機種により異なる場合があります。
 - ・アルファベットは半角を入力してください。また、大文字と小文字の区別はされないで、どちらを入力しても問題ありません。

- 5 画面に表示された PCID とパスワードをメモします。

■ Windows 7 の場合

- 1 管理サーバーに登録するコンピューターに、「ドライバーズディスク」をセットします。
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

3 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

E:¥Win8¥Security¥FJMIPWU¥FJMIPWU.exe

- ・「E:¥」は、光学ドライブを指定しています。光学ドライブ名はお使いの機種により異なる場合があります。
- ・アルファベットは半角を入力してください。また、大文字と小文字の区別はされないなので、どちらを入力しても問題ありません。

4 画面に表示された PCID とパスワードをメモします。

PCID とパスワードを CSV ファイルに出力する

「PCID /パスワード表示ツール」を、CSV ファイル名を引数としてコマンドラインで実行すると、画面に PCID とパスワードを表示するとともに、CSV 形式のファイルに出力することができます。

出力された CSV ファイルを管理サーバーにアップロードすることで、お使いになるコンピューターを登録するときに一括登録することができます。

お使いになるコンピューターの登録については、「管理サーバーの設定とコンピューターの登録」(→ P.12) をご覧ください。

1 「ドライバズディスク」にある

「¥Win8¥Security¥FJMIPWU¥FJMIPWU.exe」を、USB メモリなどの可搬媒体にコピーします。

2 「FJMIPWU.exe」と同じ場所に、次のコマンドを記述したバッチファイルを作成します。

バッチファイルは、Windows の「メモ帳」などのテキストエディターで作成することができます。

「メモ帳」などで次の文を記述し、「名前を付けて保存」で拡張子を「bat」にして保存します。

FJMIPWU.exe [csvファイル名]

- ・[csv ファイル名] には、出力したい CSV ファイル名を記述してください。
例：FJMIPWU.EXE output.csv
- ・アルファベットは半角で記述してください。また、大文字と小文字の区別はされないなので、どちらで記述しても問題ありません。

3 管理サーバーに登録するコンピューターで、手順 2 で作成したバッチファイルを実行します。

PCID とパスワードが CSV ファイルに書き出されます。

複数台のコンピューターでバッチファイルを実行すると、PCID とパスワードが追記されます。

 **POINT**

- ▶「PCID /パスワード表示ツール」の実行時、すでに CSV ファイル内に同じ PCID、パスワードが存在する場合はエラーとなります。

6 管理サーバーの設定とコンピューターの登録

運用を開始するためには、管理サーバーの設定とお使いになるコンピューターの登録が必要です。

「富士通 CLEARSURE」のページ (<https://eservice.fujitsu.com/clearsureweb/>) の「ログイン」をクリックし、端末管理者 ID とパスワードを入力します。ログイン後、「データ管理」から管理サーバーの各種設定やコンピューターの新規登録を行います。

詳しくは、『CLEARSURE 管理サーバーマニュアル』をご覧ください。『CLEARSURE 管理サーバーマニュアル』は管理サーバーログイン後のトップページにある「関連リンク」の「CLEARSURE 管理サーバーマニュアル」からダウンロードします。

7 BIOS の設定

ここでは、CLEARSURE を使うための BIOS の設定について説明しています。BIOS の設定は次の流れで行います。

- ・ BIOS セットアップの起動
- ・ CLEARSURE の BIOS 設定
- ・ BIOS セットアップの終了
- ・ アクティベートの実行

重要

- ▶ CLEARSURE を BIOS で有効にする前に、「管理サーバーの設定とコンピューターの登録」までを完了させておいてください。
- ▶ ご購入後または通信モジュールの交換後、初めて CLEARSURE を BIOS で有効にする場合、次の起動時に、コンピューターを管理サーバーに認証させる処理（アクティベート）が自動的に起動します。この処理では管理サーバーと通信するため、コンピューターが通信圏内にある必要があります。あらかじめ通信圏内に移動しておいてください。現在の通信状態は、「診断プログラム」で確認できます。診断プログラムを使用するには、『製品ガイド』－「トラブルシューティング」をご覧ください。
- ▶ CLEARSURE の設定を行うためには、BIOS の管理者用パスワードが設定されている必要があります。管理者用パスワードの設定方法については、『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧ください。
- ▶ CLEARSURE を使用するには、ハードディスクパスワードが設定されている必要があります。ハードディスクパスワードが設定されていないと、Windows を起動することはできません。ハードディスクパスワードの設定方法については、『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧ください。
- ▶ パスワードは、英字と数字を組み合わせ、8文字以上で設定してください。「ユーザー用パスワード文字数」を8文字未満に設定している場合でも、最少文字数は8文字になります。

POINT

- ▶ BIOS の管理者用パスワードの他にユーザー用パスワードも利用できます。必要に応じてユーザー用パスワードを設定しておいてください。
- ▶ ユーザー用パスワードを削除するには、BIOS セットアップを管理者用パスワードで起動してください。ユーザー用パスワードで起動すると、ユーザー用パスワードを削除することはできません。

BIOS セットアップの起動

- 1 管理者用パスワードを使用して、**BIOS セットアップ**を起動します。
詳しくは、『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧ください。
- 2 「セキュリティ」メニューを表示します。
- 3 「リモートロック・消去」を選択し、**【Enter】** キーを押します。

CLEARSURE の BIOS 設定

CLEARSURE の BIOS 設定項目について説明します。

■ リモートロック・消去機能

CLEARSURE の有効・無効を設定します。

「オフ」に設定した場合、その他のすべての項目は設定を変更できません。

- ・オン：CLEARSURE を有効にします。
- ・オフ：CLEARSURE のすべての機能を無効にします（ご購入時の設定）。

重要

- ▶ 管理者用パスワードを削除すると、この項目は「オフ」に設定されます。管理者用パスワードを再設定しても、自動的に「オン」になりません。
- ▶ 「終了」メニューの「標準設定値を読み込む」を実行した場合は、この項目は「オフ」に設定されます。
- ▶ CLEARSURE のサービス期間が終了するときは、必ず「リモートロック・消去機能」を「オフ」に設定してください。「オン」のまま使用すると、誤って「ローカルロック・消去」を実行した場合に、ロックを解除することができなくなります。
また通信圏外での起動が「しない」に設定されていると、サービス期間終了後に通信圏外となり起動できなくなります。
- ▶ 「リモートロック・消去機能」を「オン」に設定すると、「起動時のパスワード」が「毎回」に設定されます。起動時のパスワードを使用しない場合は、「リモートロック・消去機能」を「オン」に設定した後に「起動時のパスワード」の設定を変更してください。

POINT

- ▶ 「リモートロック・消去機能」を「オフ」から「オン」に変更すると、「リモート消去により、セキュリティチップもクリアされます。」というメッセージが表示されます。**【Enter】** キーを押してください。「データ消去」が実行されなければセキュリティチップはクリアされません。

■ ワイヤレススイッチオフ時の起動

ワイヤレススイッチがオフの場合に、コンピューターの起動を許可するかどうかを設定します。

ワイヤレススイッチがオフの状態では、「リモートロック・消去」を実行できません。本項目を「しない」に設定することにより、ワイヤレススイッチがオフの状態でもコンピューターを起動してしまふことを防止できます。

- ・ する：ワイヤレススイッチがオフの状態でもコンピューターを起動します。
- ・ しない：ワイヤレススイッチがオフの状態ではコンピューターを起動しません（ご購入時の設定）。

重要

▶ ワイヤレススイッチの状態は、コンピューターを起動しようとしたときに判定されます。コンピューターが起動した後でワイヤレススイッチをオフにすると、「リモートロック・消去」を実行できなくなります。ただし、その状態でもコンピューターを利用し続けることはできます。

POINT

▶ 「する」を設定した場合でも、ワイヤレススイッチがオフの状態でもコンピューターを起動しようとすると、確認のメッセージが表示されます。

■ 通信圏外での起動

通信圏外の場合に、コンピューターの起動を許可するかどうかを設定します。

通信圏外の状態では、「リモートロック・消去」を実行できません。本項目を「しない」に設定することにより、通信圏外の状態でもコンピューターを起動してしまふことを防止できます。

通信圏外になる場合については、「使用上の注意」（→ P.6）をご覧ください。

- ・ する：通信圏外の場合でもコンピューターを起動します（ご購入時の設定）。
- ・ しない：通信圏外の場合はコンピューターを起動しません。

重要

▶ 「しない」に設定すると、通信圏外ではコンピューターが起動しなくなるため、この項目を変更できなくなります。必ず、通信状態を確認してから設定してください。

現在の通信状態は、「診断プログラム」で確認できます。診断プログラムを使用するには、『製品ガイド』—「トラブルシューティング」をご覧ください。

▶ 通信状態は、コンピューターを起動しようとしたときに判定されます。コンピューターが起動した後で通信圏外へ移動すると、「リモートロック・消去」を実行できなくなります。ただし、その状態でもコンピューターを利用し続けることはできます。

▶ CLEARSURE のサービス期間が終了するときは、必ず「リモートロック・消去機能」を「オフ」に設定してください。「オン」のまま使用すると、誤って「ローカルロック・消去」を実行した場合に、ロックを解除することができなくなります。

また通信圏外での起動が「しない」に設定されていると、サービス期間終了後に通信圏外となり起動できなくなります。

▶ コンピューターを海外で使用する場合は「しない」に設定しないでください。通信圏外となり起動できなくなります。

■ ローカルロック・消去機能

「ローカルロック・消去」の有効・無効を設定します。

「ローカルロック・消去」を有効にすると、設定した回数内に正しいパスワードを入力しなかった場合に、ハードディスクのデータを消去したり、コンピューターをロックしたりできます。これにより、「リモートロック・消去」が実行できない場合でも、情報漏えいのリスクを低減できます。

「ローカルロック・消去」が実行されたときの動作は、「ローカルロック・消去動作」(→ P.16) で設定します。

- ・常に使用する：「ローカルロック・消去」を有効にします。
- ・圏外で使用する：通信圏外の場合にのみ、「ローカルロック・消去」を有効にします。
- ・使用しない：「ローカルロック・消去」を無効にします（ご購入時の設定）。

重要

- ▶ 「ローカルロック・消去」が実行されると、管理者がロックを解除するまでコンピューターは使用できなくなります。
- ▶ 「圏外で使用する」に設定した場合、通信圏外かどうかはパスワードの入力時に判定されます。
- ▶ CLEARSURE のサービス期間が終了するときは、必ず「リモートロック・消去機能」を「オフ」に設定してください。「オン」のまま使用すると、誤って「ローカルロック・消去」を実行した場合に、ロックを解除することができなくなります。
また通信圏外での起動が「しない」に設定されていると、サービス期間終了後に通信圏外となり起動できなくなります。
- ▶ ローカルロック・消去機能はパスワード認証時のみ有効です。指紋認証時はローカルロック・消去機能は働きません。

■ ローカルロック・消去動作

「ローカルロック・消去」が実行された場合の動作を設定します。

「ローカルロック・消去機能」を「使用しない」に設定している場合は、設定を変更できません。

- ・ロック：コンピューターがロックされます（ご購入時の設定）。
- ・消去：ハードディスクのデータがすべて消去され、その後コンピューターがロックされます。

■ パスワード入力回数上限

パスワードの入力回数の上限を設定します。

設定した回数内で正しいパスワードを入力しないと、「ローカルロック・消去」が実行されます。例えば「3」を設定した場合、パスワードを3回間違えると、「ローカルロック・消去」が実行されます。

3 / 5 / 7 / 9 回から選択します。ご購入時の設定は「3」です。

重要

- ▶ 指紋認証の入力回数は、ローカルロック・消去機能のパスワード入力回数にカウントされません。指紋認証とパスワード認証を切り替えながら使用する場合は、パスワード入力回数のみカウントされます。

BIOS セットアップの終了

設定を保存し、BIOS セットアップを終了します。

BIOS セットアップの終了方法については、『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧ください。

以上で CLEARSURE の BIOS 設定は完了です。

ご購入後または保守作業による通信モジュールの交換後、初めて「リモートロック・消去機能」を「オン」に設定した場合は、アクティベートを行います。「アクティベートの実行」(→ P.17) へ進んでください。

すでにアクティベートを実行済みの場合は、パスワードの入力を行います。「認証機能を使う」(→ P.18) へ進んでください。

アクティベートの実行

ご購入後または保守作業による通信モジュールの交換後、初めて CLEARSURE を BIOS で有効にした場合、コンピューターを管理サーバーに認証させる処理 (アクティベート) が必要になります。

アクティベートを行うことで、コマンド発行に必要なハードウェア構成の確認を行います。次の手順に従ってアクティベートを行ってください。

1 コンピューターの電源が入っていない場合は、電源を入れます。

状況によっては、次のメッセージが表示される場合があります。ここで説明する対処方法に従って操作してください。それ以外のメッセージが表示された場合は、「CLEARSURE の表示するメッセージ」(→ P.21) をご覧ください。

- ・「ワイヤレススイッチがオフになっています。オンにしてください。」
ワイヤレススイッチがオフになっている場合に表示されます。ワイヤレススイッチをオンにしてください。ワイヤレススイッチをオンにしても次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。
- ・「通信圏外です。圏内に移動してください。」
通信圏外の場合に表示されます。通信圏内に移動してください。通信圏内に移動しても次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。

しばらくすると、「登録確認中です...」(ご購入後)または「管理サーバーのデータ更新中です...」(保守作業による通信モジュールの交換後)というメッセージが表示され、コンピューターが管理サーバーと通信を開始します。この間「ピッピッ」というビーブ音が鳴り続けます。この処理を取り消すことはできません。

アクティベートには最長 1 分程度かかりますので、そのまましばらくお待ちください。

重要

- ▶ コンピューターが管理サーバーと通信中に、パソコン本体の電源を切ったり、再起動したりしないでください。
アクティベートが中断されると、管理サーバーにエラーが記録される場合があります。また次回起動時に再度アクティベートが必要となります。

ビーブ音が止まり、パスワード入力画面が表示されたらアクティベートは完了です。「認証機能を使う」(→ P.18) へ進んでください。

8 認証機能を使う

CLEARSURE を有効にした場合、コンピューターの起動時や、休止状態からの復帰時に認証画面が表示されます。

パスワード入力画面

CLEARSURE のパスワードの入力画面は次のようになっています。



1 パスワード入力域

2 ワイヤレススイッチの状態（「オン」または「オフ」）

「オフ」と表示されている場合、「リモートロック・消去」を実行することはできません。

3 通信状態（「圏外」または「圏内」）

「圏外」と表示されている場合、「リモートロック・消去」を実行することはできません。

POINT

▶ 実際の通信状態が表示に反映されるのには 10 秒程度かかる場合があります。

4 「ローカルロック・消去」の状態（「有効」または「無効」）

「有効」と表示されている場合、「ローカルロック・消去」が有効になっています。「ローカルロック・消去機能」（→ P.16）を「圏外で使用する」に設定した場合、通信状態が「圏外」の場合に「有効」と表示されます。

パスワードの入力

パスワード認証には、BIOS の管理者用パスワードまたはユーザー用パスワードを使用します。パスワードの代わりに指紋で認証する場合は、「指紋認証を使う」（→ P.20）をご覧ください。

1 コンピューターの電源を入れます。

パスワード入力画面が表示されます。

状況によっては、次のメッセージが表示される場合があります。ここで説明する対処方法に従って操作してください。

それ以外のメッセージが表示された場合は、「CLEARSURE の表示するメッセージ」（→ P.21）をご覧ください。

- ・「ワイヤレススイッチがオフのため、起動できません。」
「ワイヤレススイッチオフ時の起動」(→ P.15) を「しない」に設定してあり、ワイヤレススイッチがオフの場合に表示されます。このメッセージが表示されてから 10 秒経過するか、【Enter】キーを押すと電源が切れます。
ワイヤレススイッチをオンにして使用する場合は、ワイヤレススイッチをオンにし、コンピューターの電源を入れ直してください。
- ・「ワイヤレススイッチオフのまま使用する場合、リモートロック・消去機能が使用できません。ワイヤレススイッチをオフのまま使用しますか?」
「ワイヤレススイッチオフ時の起動」(→ P.15) を「する」に設定してあり、ワイヤレススイッチがオフの場合に表示されます。
ワイヤレススイッチをオフにしたまま使用する場合は「はい」を、そうでない場合はワイヤレススイッチをオンにして「いいえ」を選択し、【Enter】キーを押してください。

重要

- ▶「はい」を選択した場合、「リモートロック・消去」を実行できなくなります。この場合でも、後からワイヤレススイッチをオンにすることにより、「リモートロック・消去」が実行できるようになります。
- ・「通信圏外のため、起動できません。」
ワイヤレススイッチがオフの場合か、「通信圏外での起動」(→ P.15) を「しない」に設定してあり、通信圏外の場合に表示されます。このメッセージが表示されてから 10 秒経過するか、【Enter】キーを押すと電源が切れます。
コンピューターを使用するには、通信圏内に移動し、コンピューターの電源を入れ直してください。ワイヤレススイッチがオフの場合はオンにしてください。

2 パスワードを入力し、【Enter】キーを押します。

重要

- ▶「ローカルロック・消去」が「有効」と表示されている場合、「パスワード入力回数上限」で設定した回数だけパスワードを間違えると、「ローカルロック・消去」が実行されます。残りの入力可能な回数は表示されませんので、パスワードを忘れてしまった場合は、それ以上の入力をやめ、『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧ください。
- ▶パスワードを入力するときに【Enter】キーを押し続けると、連続入力されてしまいます。ご注意ください。

3 ハードディスクパスワードの入力画面が表示された場合は、ハードディスクパスワードを入力します。

正しいパスワードを入力すると Windows が起動または休止状態から復帰します。

指紋認証を使う

指紋センサー搭載機種では、BIOS パスワードの代わりに指紋認証を使うことができます。設定方法は『SMARTACCESS ファーストステップガイド』をご覧ください。

POINT

- ▶ CLEARSURE モデルでは、「BIOS 認証」の「ユーザー認証方式」で「指紋認証のみ」を選択することはできません。

9 CLEARSURE の表示するメッセージ

CLEARSURE の表示するメッセージは次のとおりです。メッセージが表示された場合は、「対処」欄をご覧になり操作してください。

ここに記載されていないメッセージが表示された場合は、管理者にご連絡ください。

メッセージはABC 順→五十音順に記載されています。

メッセージ	説明	対処
HDD が搭載されていません。	ハードディスクが正しく搭載されていない可能性があります。	管理者にご連絡ください。
HDD パスワードが未設定です。BIOS セットアップを起動し、HDD パスワードを設定してください。	ハードディスクパスワードが設定されていない場合に表示されます。	『製品ガイド』－「BIOS」－「設定事例集」－「BIOS のパスワード機能を使う」をご覧になり、ハードディスクパスワードを設定してください。
パスワードが短すぎます。もう一度パスワードを入力してください。	ハードディスクパスワードが正しく設定されなかった場合に表示されます。	パスワードは、英字と数字を組み合わせて 8 文字以上で設定してください。
アルファベットと数字が混在されていません。それぞれ 1 文字以上を組み合わせて入力してください。	ハードディスクパスワードが正しく設定されなかった場合に表示されます。	パスワードは、英字と数字を組み合わせて 8 文字以上で設定してください。
管理サーバーにデータ登録が出来ませんでした。	アクティベート時に、通信回線が混雑している可能性があります。	一度コンピューターの電源を切り、しばらくしてから電源を入れてください。何度実行しても同じメッセージが表示される場合は、管理者にご連絡ください。
管理サーバーのデータ更新中です...	アクティベート中に表示されます。	そのまましばらくお待ちください。
セキュリティ機能を実行しています。(100)	「PC ロック」または「データ消去」が行われた状態です。	管理者にご連絡ください。
通信圏外です。圏内に移動してください。	アクティベート時に、通信圏外の場合に表示されます。	通信圏内に移動してください。通信圏内に移動しても次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。
通信圏外のため、起動できません。	ワイヤレススイッチがオフの場合か、「通信圏外での起動」を「しない」に設定しており、コンピューターが通信圏外の場合に表示されます。	コンピューターを使用するには、通信圏内に移動し、コンピューターの電源を入れ直してください。ワイヤレススイッチがオフの場合はオンにしてください。同じメッセージが表示される場合は、管理者にご連絡ください。
通信モジュールが交換されたため、起動できません。	別の PHS 通信モジュールと交換された状態でコンピューターを起動した場合に表示されます。	PHS 通信モジュールは保守作業を除き交換しないでください。故障により交換が必要な場合は管理者にご連絡ください。

CLEARSURE をお使いになる方へ

メッセージ	説明	対処
通信モジュールが搭載されていないため、起動できません。	PHS 通信モジュールを取り外した状態でコンピューターを起動した場合に表示されます。	PHS 通信モジュールは必ず取り付けてください。 取り付けられた状態でも次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。
登録確認中です... しばらくお待ちください。	アクティベート中に表示されます。	そのまましばらくお待ちください。
登録に成功しました。	アクティベートが成功しました。	そのままお待ちください。
ワイヤレススイッチがオフになっています。オンにしてください。	アクティベート時に、ワイヤレススイッチがオフになっている場合に表示されます。	ワイヤレススイッチをオンにしてください。ワイヤレススイッチをオンにしても次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。
ワイヤレススイッチがオフのため、起動できません。	「ワイヤレススイッチオフ時の起動」を「しない」に設定しており、ワイヤレススイッチがオフの場合に表示されます。	ワイヤレススイッチをオンにして使用する場合は、ワイヤレススイッチをオンにし、コンピューターの電源を入れ直してください。同じメッセージが表示される場合は、管理者にご連絡ください。
ワイヤレススイッチがオンにされました。	ワイヤレススイッチがオンになった場合に表示されます。	しばらくすると次の画面に進みます。そのまましばらくお待ちください。
ワイヤレススイッチオフのまま使用する場合、リモートロック・消去機能が使用できません。ワイヤレススイッチをオフのまま使用しますか？	「ワイヤレススイッチオフ時の起動」を「する」に設定しており、ワイヤレススイッチがオフの場合に表示されます。	ワイヤレススイッチをオフにしたまま使用する場合は「はい」を、そうでない場合はワイヤレススイッチをオンにして「いいえ」を選択し、【Enter】キーを押してください。
ワイヤレススイッチをオンにしてください。	ワイヤレススイッチをオンにしなければならない場合に表示されます。	ワイヤレススイッチをオンにしてください。ワイヤレススイッチをオンにしても次の画面に進まない場合は、管理者にご連絡ください。

CLEARSURE をお使いになる方へ

B5FK-2261-01 Z0-00

発行日 2013年6月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。